



昭和天  
「この中国系の団体は、『蔚安婦正義連合』を名乗つてゐますが」  
先のジャーナリストがその「背景」を述べる。  
「トップは、リリアン・シンと、ジヨーリー・タンといふ、2人の中国系、元女性裁判官です。2人は判事として、代から、南京事件の追及運動に熱心で、1997年には、「南京虐殺賠償連合」いう組織も立ち上げている「ザ・レイブ・オブ・南京」の著者、アリス・チャンらに、スピーチの時間は1人2分と決まつてしまいまして、議長は公平な存在であるはずなのに、全く違つた(同)極め付きは公聴会の終了後ある市議会議員が自らに向かつて、「恥を知り、斯くてはいけないことを改めておきたいのです。一方私たち反対派に対しては厳密で、2分を過ぎるとこでイクの電源を切つてしまふが、賛成派の時は時間を過ぎても延長して続けてやる」といふのであります。

## 昭和天皇を告発

れ！」と4回も繰り返し、李女史を抱擁。ほっぺたに口づけましたというのだ。「彼らは、はじめから設置ありき。対話をか、交渉あり得る可能性なんてありえないのです。一体、これをどう乗り越えろというのでしょうか？」（同）

結局、行われたのは、監督・中国、主演・韓国による両国合作「慰安婦芝居」だったというウケなのである（西田）

再度問うが、この彼女と「対話」が可能だろ？そもそも「対話」が必要だらうか……。  
折しも、11月24日、一  
の韓国政府が「慰安婦問題」を制定。中韓の攻撃  
止まらない。  
中国に詳しい、ジャーナ  
リストの福島香織氏は言  
「今回も例に漏れず、こ  
3年ほど、中國と韓國の  
体が慰安婦問題で共闘す  
機会が増えてます。ソ  
シルト上海で慰安婦像を  
設置していますし、世界  
憶遺産にも、「慰安婦資  
を両国が中心となって提  
案している。今後も世  
で似た動きが続くのでは  
いでしょうか」

と述べるのは、産経新聞  
ワシントン駐在客員特派員  
の古森義久氏。

「それに對し、姉妹都市解消という形で不快の念を示したのは、当然の話。今後の抑止力にもなりえる行動です。逆に黙つていれば事実を認めてしまつたところえられてしまうのです」

その意味で言えば、改めて大阪の対応や良し、だが、一方で先日の日良氏は、こんな氣になる証言も……。

「今回の件では、サンフランシスコの日本全額事館に何度も相談に行きました。しかし、いつもいろいろやつてます。水面下でやつてます」と言うだけ。実際には、「騒ぎにしない。」何もしない。という姿勢であることを強く感じました。」

「沈默」が最も苦とされ、時代はもう過ぎ去つた。それは、何度。謝罪。して歴史問題を蒸し返す、両国の姿勢が雄弁に物語つてゐるのであるが……。

悟が日本にあるのだろうか。結果として、その自覚と覺

104